



ミニ蒸気機関車の 「鷹巣～角館」に人気集中

農作業が一段落した11月1日から3日まで、恒例の産業祭、文化祭が盛大に開催されました。

期間中は、比較的好天に恵まれ、農家の豊作も手伝って、各会場はドット人の波が繰り出し、1万4千人の参観者でにぎわいました。

体育館前のミニ蒸気機関車には家族連れが殺到。「鷹巣～角館」の切符で子供たちが乗車。阿仁合線の存続に一役かっていました。

人口と世帯数 (住民基本台帳による)

10月31日現在	(前月比)
総人口 25,353	(2人減)
男 12,364	(3人増)
女 12,989	(5人減)
世帯数 7,242	(3世帯減)

生産者懇談会の講演から

見直される農業に後継者を

20年間で米価は4倍、コストは8倍



町では、稲の刈り入れの終わった十月二十六日午前十時から、役場三階大会議室で「生産者懇談会」を開催しました。高収量、低コストをめざす米作りに多くの関心が寄せられています。新農政研究所長、武田邦太郎氏が「秋田農業はよくなるか」と題して、齒に衣を着せない講演を行い、百五十人近い参加者に農業の明るい話題を提供してくれました。

コストは年五%アップ

農民は困った時の解決方法として、すぐ政府に陳情、要望してしまふ。政治家は国民に受けやすい答弁をするが、国民の生活や農業政策は一向によくならない。自から解決する努力が必要だ。私たちは、米価を高くする運動を農民の要求として進め、確かに米価は高くなった。しかしコストを下げる努力をしていない。この

賃貸農業で規模拡大

これからの農業は、十畝に規模拡大することが望ましいが、土地は買売されないので、賃貸農業が盛んに行われると思う。現在は、家族労働を収入に組み入れているので、米価が上がらなくても農業をやっているが、五〜十年後はコスト高のため、小規模農家は賃貸農業に変わることは確実である。年配者は、先祖伝来の土地は自分で耕さなければ恥だと思っているが、若い人たちは、自分で出来なければ他人に貸すということに抵抗がない。現に、自分の農地が八十町より少ないのに四十町を借地で農業をやっている人がいる。

二十年間で、米価は四倍になったがコストは八倍であり、米価は上がっても農家の生活は苦しくなる。ここ数年の米価は一%で推移しているし今後も大幅なアップは望めない。なぜなら、政府には金がないので、政治は農民の要求を満たしてくれない。しかし、コストは確実に年五%は上昇する（一昨年は二・二%もアップ）。

反当りの労働時間は六十時間で計算すると、一時間当り米八・八となる。大潟村は時間当り百。規模に拡大し、大型機械を導入すると十二倍も生産力が生まれることになる。また秋田県農業試験場の実験では、耕起三十センチ、堆肥二トを入れ、排水をよくすると千・八は取れる。このように規模を拡大し、収量を増すと、米価が据え置かれても十分やって行ける。開発途上国では食糧不足で不安な毎日を通しているが、低コストの余剰米は輸出できる。

米に適す東北・北陸

水田再編対策を押し進めるため農作物の適地適産が論じられています。このことを積極的に国が進めなければならぬ。米は北陸、東北地方にまかせ、反収六〜七俵の四国、九州などは四倍も収量のある牧草で畜産振興すべきです。北海道は寒いほどジャガイモの生育がよく、無理して米を作る必要がない。

共済保険も払う地方はいつも払いなし、貰う地方は毎年という具合で、不平等になりつつあり、町ぐるみで共済から脱退するような話も耳にする。このようなことから適地適産に真剣に取り組むべきです。

嫁不足は女性に働かせるから

農家は収入があっても嫁不足に悩んでいる。これは女性に農業は

ふさわしくないからだ。女性に農業をやらせないようにしなければいつまでたっても農家の嫁不足は解消できない。オーストラリアでは五十人を一人で行っている。しかも反収十二俵取れている。女性は価格の情報収集や事務的な仕事と家事でたくさんだと思ふ。

食糧安保は万全でない

現在は食糧の三分の二はアメリカなどからの輸入にたよっているが、農産物は天候に左右されることから、北米の冷害や海上封鎖などで、食糧の安全保障が永久的なものとはならない。バランスのとれた食糧生産が望ましい。

真の農政は中央官庁ではなく、地方の声を大切にしなければ、日本の食糧飢饉は救えない。中央では、生産の方法、手段、可能性について自信がないから、危い橋を渡ろうとしない。だから、従来どおり輸入に頼ろうとする。食糧パニックで混乱するのは都会であることをわすれてはならない。

また土地利用計画も誤ってはならない。日本の人口は昭和八十年の一億三千万人（現在は一億七千万人）がピークだといわれている。今後四十万が宅地になっても、五百万が農地として確実に残る。これらを見こして潰地以外を、半永久農地にするよう基盤整備を一年でも早く実施すべきです。

農協も、良い農家だけを大事にすることから、農家を強くするよう、技術革新、マーケティングの開拓を計らなければならない。

消防功勞の高橋氏に勲六等

奈良さんに藍綬褒賞 高橋氏は県教育功勞者に

政府では、民間人としてそれぞれの立場で功績のあった方を表彰しましたが、当町からは消防功勞として綴子上町・高橋省吾氏（64歳）が勲六等単光旭日章、人権擁護委員として活躍されている住吉町七番一号・奈良幸恵さん（67歳）が藍綬褒章を受章しました。一方、県教育委員会では長年教育行政に貢献された前教育長・高橋茂明氏（68歳）に県教育功勞者の表彰を行いました。

勲六等単光旭日章

高橋 省吾氏



高橋氏は、昭和十三年四月に旧綴子村消防組員を拝命。二十一年七月同村消防団班長、三十一年九月鷹巣町消防団第五分団班長、三十三年四月同第五分団副分団長、四十一年四月同第五分団長、四十七年十二月に鷹巣町消防団副団長となり、五十五年十一月をもって退任しましたが、四十二年余り一線で活躍するとともに、団員の指導に意を注がれました。

またこの間、県知事から有功章、消防庁長官から永年勤続功勞章、日本消防協会会長から四十年以上勤続章が授与されました。

藍綬褒章

奈良 幸恵さん



奈良さんは、昭和三十四年四月に人権擁護委員に委嘱され、現在まで八期二十三年間、委員として地味な活動を続けています。人権に関する相談は、夫婦、嫁と姑の家庭内のいざこざや、境界争い、下水、騒音などの生活公害

苦情などさまざまで、月に七、八件の相談を受けているそうです。

その中で最も印象深いものは、ある夫婦が姑とのトラブルで離婚にまで発展。子供の親権争いで家裁の調停まで行ったが、子供の幸せを願って、二人でもう一度やり直すことになり、わざわざあいさつに見られた時は、委員として相談にのって本当によかったと胸が温くなったそうです。

奈良さんは人権擁護委員として県常務理事、県婦人部長などの役職につかれ県内の委員の指導や連絡調整の役目を果しているほか、保護司、裁判所の調停委員としても広く活躍されています。

また、相談者の秘密を守るため自宅の玄関から、誰れにも見られないで入れる専用の「相談室」が設けられています。そして、「受章は一つの節目、相談活動を生涯づけれます。どんなささいな悩みや苦情でも、気軽に話してください」と述べています。

県教育功勞者

高橋 茂明氏

高橋氏は阿仁町萱草の出身。秋田師範専攻科を卒業。昭和九年比

立内尋常小学校の訓導をふり出しに、阿仁部の小中学校で教べんとりました。

二十二年葛黒小学校長に弱冠三十三歳の若さで起用され、その後米内沢小、前田小、米内沢中、鷹巣中、大館東中の校長を歴任。この間、県教育庁指導主事、郡市国語教育研究会長、郡市校長会長を勤められました。

四十九年七月には町教育長に任命され二期八年間にわたって職務を全うされ、ことし、六月三十日で退任されました。

高橋氏はこの間、学校教育の充実。教育人事の積極的な交流。西、北幼稚園の開設。鷹巣小学校の移転決定。生涯教育と地域公民館活動の充実。社会体育・スポーツの振興と施設の整備。など数かずの功績が評価され今回の受章となったものです。

現住所・大館市桜町南五六一六



全国青少年健全育生強調月間

——明るくたくましい青少年を育てるために——

- ◇大人が正しく生き、子供から信頼される家庭をつくらう
- ◇他人の子供も進んで注意、みんなでよい環境をつくらう
- ◇子供に社会生活のルールを身につけさせよう

町長 日誌

10月16日～10月31日

- 16日 畠沢恭一県議会議員在職三十五周年記念祝賀会
- 大館市地区労結成三十周年記念祝賀会
- 17日 短歌会十五周年記念
- 18日～22日 県町村会建設委員会視察研修
- 福岡県鷹巣阿仁地域保健医療対策協議会
- 22日 大野台シンポジウム
- 川町
- 23日 役場及び消防署、元管理職の懇談会
- 24日 大野台農業開発事業打合せ会議
- 25日 30日 道路利用者会議全
- 国大会および道路視察
- 静岡市
- 30日 森吉町外四カ町村病院組合管理者、副管理者会
- 文化祭開会式
- 31日 地域活動センター竣工式
- 吉野子ども村七座健康増進センターパ
- ックネット竣工式

北欧との交流から

秋田を考えるシンポジウム

風土に根ざした地域社会づくりをめざして...といふことから大野台開発に多くの意見を反映させるため「北欧との交流から秋田を考えるシンポジウム」を、十月二十三日午後一時から當農大で開催。寒さと生活、森林資源の活用、市民生活と街づくりでパネル討議が行われました。



国際的視野を広げ、創造性豊かな地域社会づくりをするため、雪と寒さの気候風土が類似している。北欧諸国の研修視察を昭和五十四年以来、これまで三回にわたって行われました。

研修視察では、産業や生活、文化などで、見聞と交流を深めるとともに、国際親善に大きな役割を果してきました。

このたび、北欧から学んだ貴重な成果を、秋田県と共通している雪寒との生活、木材資源の活用、自然環境とマッチした街づくりなどで情報交換を行い、秋田の風土を生き抜く生活に役立てるため、シンポジウムが開かれました。

◆寒さと生活

最初に日本フィンランド協会専務理事、増田吉男氏がスライドを使って「国際化時代と地域」と題して特別講演が行われました。その後、パネル討議が行われました。内容は次のとおりです。

▽建物には壁面積が多いほど、冷却面積が多いので熱効率が悪い。窓も必要以上に多くつけると二〇%も熱が逃げる。北欧では二百%の断熱材を使っているが、日本では北海道が百十%、東北は四十五%くらいで、油の消費も北欧が千二百九十%であるのに対して、断熱材の少ない我が国では、最も多いところで四千二百%も灯油を使う。

▽北欧では丸太を組み合せて家を建てている。木は消防法上問題あるが、太い木は燃えるのは表面だけ、木は断熱効果が大い。

▽日本、チリ、フィンランドは胃ガンが多い。定説ではないが、共通していることは、いずれも「魚を塩づけで食べることが多い」。

▽脳卒中も多い。近年、日本は集団検診で、フィンランドは交通の発達で新鮮な食糧が入るようになったことから胃ガンは減少の傾向にある。

▽北欧は日本より心臓病が多い。フィンランドは平均寿命が短い。北欧も秋田県も自殺者が多い(日本で四番目)

▽老後を健康に過すためには、年齢に応じた仕事をすべきだ。簡単な野菜づくりもよいと思う。頭、体は使わないとボケてしまう。

◆森林資源の活用

▽フィンランドは標高一、三二八メートルが最高峰だが偉度が高いので小径木が多い。木材は捨てるものはなく有効利用されている。

▽フィンランドは三分の二が森林に覆われているが、寒く生育が悪いので、森林の伐採も許可が必要。日本は節を気にするが、フィンランドではあまり気にしない。

▽森林の中に畑があり民家がある。木工製品は個性が豊かだ。

◆市民生活と街づくり

▽日本は一軒いっけんはすばらしいが、全体的な美観はよくない。フィンランドは、街に合せて同じ建てる物、色彩なので調和がとれて美しい。

▽日本は凸凹な土地は平にするがフィンランドでは、地形に合った街づくりをしている。

▽このように、北欧では雪寒地としての、独特な生活と文化、産業を生み出している。

おしらせ

国有地を無断で使用している方

土木事務所では、国有財産(道路、水路)について理解を図り、紛争を未然に防止するため、次のことをお願いしております。

▽国有地を無断で使用している場合は、不法になりますので、自己所有地に隣接する国有地を使用していることが明らかとなった場合には(使用例としては宅地、田、畑、資材置場など)建築物など取り除いてください。

▽道路、水路などが形を保ち、その用をなしているものと認められる場合は、支障がなければ、使用許可とします。

▽使用されている道路、水路などがその用をなしていないときや、その形を失っているものと判断される場合は、使用者が買収してください。

くわしくは、北秋田土木事務所(☎二一三一一)へ。

バトミントン大会開催

第八回町民バトミントン大会が、十一月二十六日から二十八日まで期間、鷹巣体育館で開催されます。

種目は、個人戦、団体戦(地区職場、町内有志で編成したチーム)参加希望の方は、十一月二十日まで鷹巣体育館(☎二一三八〇〇)へ申し込みください。

テニス教室を開設

健康で明るく、自らの体力保持増進のためのテニス教室を、鷹巣町教育委員会と体育協会の共催で開設いたします。

日程は、十二月六日から五十八年一月二十七日までの期間に十回。時間は、午後七時から九時まで鷹巣体育館で行います。

参加料は、千円(スポーツ傷害保険未加入の方は、加入してください。六百八十円です)申し込みは十二月二日まで、参加料を添えて鷹巣体育館(☎二一三八〇〇)へ

県民手帳が入荷

昭和五十八年用秋田県民手帳が入荷しましたので、予約をした方は役場企画係で、代金三百円と引きかえにお受け取りください。

なお、手帳の残部がありますので、予約していない方でもご希望の方はおいでください。



深夜・暖気運転に注意

いねむりで死亡事故が続出

シートベルトは
必ずしめよう

11月3日午前1時、糠沢地内の国道7号線で発生した、いねむり運転による死亡事故現場

十一月三日の早朝、いねむり運転により死亡するという悲しい事故が発生。町では、統計上今年二人目の交通事故死者となつていますが、事故発生以来一週間目で死亡した方を含めると実質的に三人の死亡者が出たこととなります。昨年の同期が二人であり、交通事故防止にももちろんですが、人命尊重という立場からも死亡につながる事故は防いでゆかねばなりません。

交通事故は、被害者はもちろんですが、加害者にとつても不幸な出来事になってしまいます。交通ルールを守った安全運転が何より大切で、ドライバーはもちろんですが、歩行者や自転車、バイクを運転される方も十分気を付けてほしいものです。

とくに、冬の間をひかえ、夕暮れも早く、路面の凍結や、寒さのためヒーターが強すぎるなど、事故と結びつく原因が多くあります。あなたの生命と、家庭を守るためにも安全運転で事故を撲滅しましょう。

▽夕暮れ時の運転は歩行者や自転車に気を付けましょう。

▽車内は適度な暖房で運転し、時折り窓をあけて、空気を入れかえましょう。

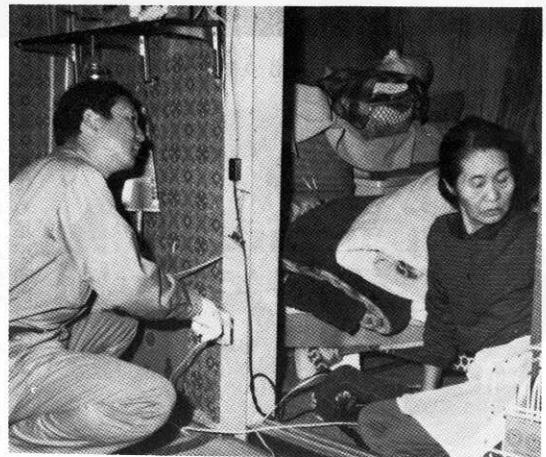
▽疲れたり、眠気をもよおしたら安全な所に車を止めて、五分位睡眠をとりましょう。

▽シートベルトは必ずしめましょう。

▽バイクはヘルメットを着用し、自転車の無灯運転はやめましょう。

電力は老人宅を訪問

配線や器具の点検サービス



東北電力鷹巣営業所では、十月十八日から「秋のサービス旬間」を実施。町民との対話と、サービスタクティクスを展開して喜ばれていました。

旬間初日の十八日は、役場を訪れ防犯灯四基（これまで百三十四基）を寄贈。二十日には旧町内を一斉訪問して、電気に対する質問や意見を聞くと同時に器具の安全指導を行っていました。

また旧商工会館では電気機器の点検修理。一人暮らしの老人宅を訪問して、配線や電熱器の点検を実施するなど感謝されていました。

二十一日には、高圧電力を使用している企業を訪れ、安全点検を行い、二十五日には昼あんどんの解消と、期間中精力的に町内を巡回して、多くの町民から喜ばれていました。

たばこは町内から買いました。

昨年度のたばこ消費税は

八、七〇一万八千円が町に入りました



文化と産業

14,000人の人出でにぎわう



第3回産業祭

発展する地域産業の出品でにぎわいをみせた鷹巣体育館

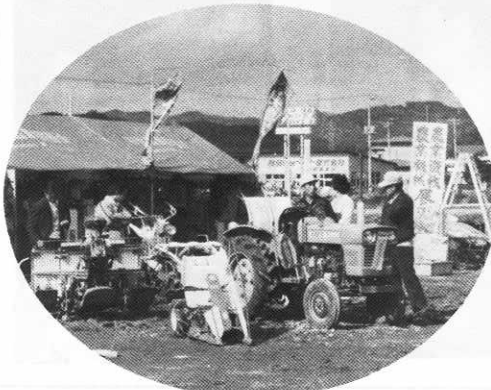
ひょっこり会場を訪れた佐々木県知事は農産物に関心を示されました



小径木利用のモデルハウス



会場を回った空腹を満たす食堂は超満員

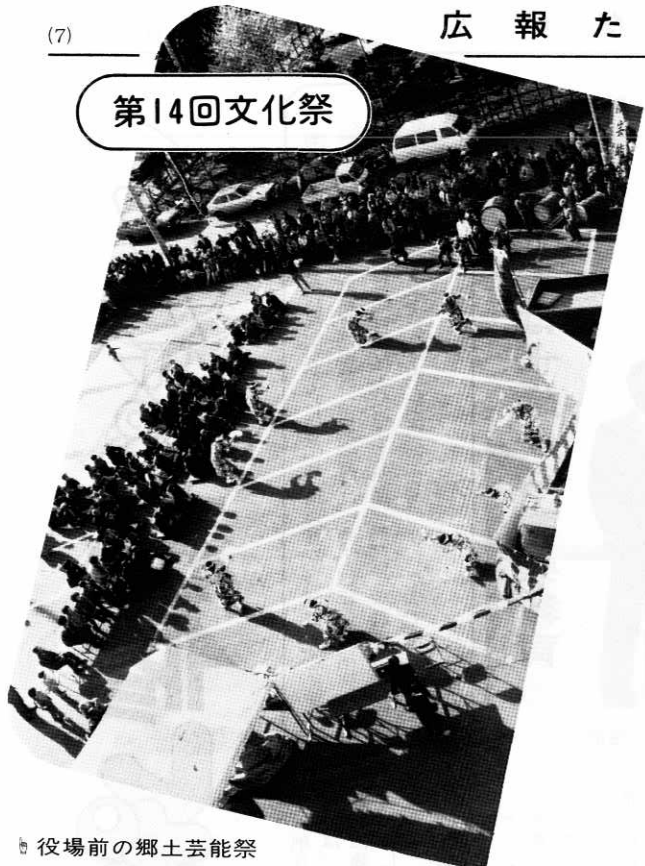


史上二番目の豊作とあつて農機具会場にも足が向いていました



30年前まで使用されていた腕用ポンプはチビッコに大人気

第14回文化祭



役場前の郷土芸能祭



のど自慢、芸能祭などの催し物は大盛況



健康を気づかって動脈硬化、血圧を測定

流派ごとに美を競った生花展



友だちと連れだって作品を觀賞



チャリティバザーはなんでも50円、格安の値段にびっくり



幼児も芸術に理解を示しました



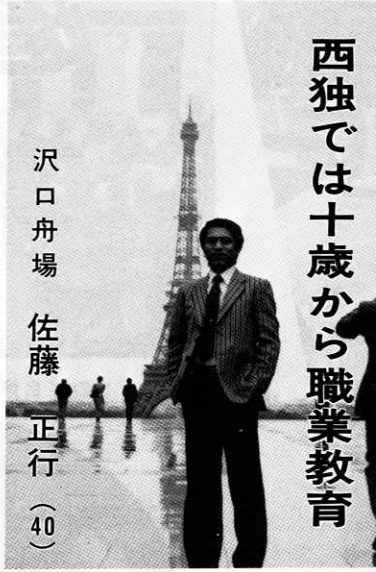
研修レポート

国際的視野にたつた活力あふれる中核指導者を養成するため県と町では、社会教育海外研修に持地昭彦氏、商工青年海外研修に佐藤正行氏を十月二日から十八日まで派遣。西ドイツなど四カ国を歴訪し、研修の成果を次のとおり報告がありましたので掲載します。

西独では十歳から職業教育

商工青年海外研修

沢口舟場 佐藤 正行 (40)



パリのエッフェル塔前で

タウン開発に「田園性」を

ロンドン(イギリス)ではハロウ・ニュータウンを見学。日本で言うテクノポリスと同じように、働く場所と住む場所を一地域にまとめた「まちづくり」です。

住民の自由と協調ある生活を可能にする地域社会の形成を基調としており、日本のニュータウンとみられるベットタウンでなく、自

足完結性とバランスある地域社会でした。

イギリスでは数々のニュータウン開発が成功しており、事実ニュータウン居住者の五分の四はこの生活に満足しているようであり、ここから去った者は少ないということでした。

ニュータウン開発には「田園性」が強調され、自然環境の保全については単に防衛的な態度にとどまらず、公害のない生活環境を積極

的に創りだすためのコミュニティ意識には、日本では考えられないほど、根強いものがあるように感じられました。

ケルンの見本市

ケルン(西ドイツ)の見本市は全世界に有名で、今回は「第十七回フォートキナ八十二回」が開催されていきました。フォートキナ「世界写真見本市」は日本からの出品も多く、人気も上々でした。

カメラ、フィルム、ビデオ、オーディオビジョンなど十二万平方メートルの常設見本市会場に千二百社の製品が展示されていました。

ローマ時代から二千年の歴史を誇る古都ケルンは、欧州最大の人口密集地帯ラインル地方を背景に交通、流通の中心として発展しています。

見本市会場はライン河の畔に位置する広大な常設会場で一号館から十三号館までありました。古くから商取引を目的とする二十五の専門見本市(ドイツ語でメッセ)が定期的に開催されています。

マイスターで職人教育

ドイツを語るにはマイスター制

度をぬいては語れない。マイスター制度とは日本の江戸時代の職業制度のような感じで、商人の子は商人、大工の子は大工と、極端に言えばそんな制度である。

中世ヨーロッパの諸都市に発達したギルド社会における職人の序列は、親方、職人、徒弟という徹底した専門技能教育と職業訓練を行うものです。

子供が小学校四年(十歳)になると、将来の職業を選ぶため、上級学校への進学コースか職業コースか最初の決定をしなければなりません。

職業コースを選ぶ者は一般中学を卒業すると、自分の将来選択する必要技術の見習工として、企業に所属して技術見習を受けられるしくみになっています。

ドイツの工業製品が良心的で質の良い物に仕上げられているのは、一定のレベルを堅持した、数年間に及ぶ徹底した職業教育がなされているという、根本的なマイスター

制度のためだと思われれます。世界に通用する発明や特許が多く、ドイツの機械が優秀であると良く言われる所以もここにあるように思われます。

ショップは「村の広場」

パリ近郊商業センター「レ・カトル・タン・ショッピングセンター」は、約三万坪の売場を百六十のテナントとレジャー・センターで構成されています。

「レ・カトル・タン」と命名されたこの新商業娯楽センターの建築面積は十平方メートル。昨年までの投資額は約三百億円、同センターの設計モデルを見ると、平面的で細長い建築様式をとっています。が、未来都市を指向しているデファンス地区にマッチするよう、劇造的なアイデアがふんだんに盛り込まれております。同センターの東端には、アイスリンクを建てレジャー・文化センターの中心点に



古城にマッチした街並

したこと、そして西端にはショッピングセンターの機関車役を果たす「サマリズ百貨店」「オシャン・ビックスストア」などに囲まれた大広場が造られていることです。キオスクあり一杯飲み屋あり、広告塔あり、といった「村の広場」のイメージを出している。そして東西両広場を長さ百二十メートルのアーケード街でつなぐ。

社会教育海外研修



あけぼの町

持地 昭彦 (41)

資格取得の学習講座が盛ん

アーケードの天井は自然採光をよくするため、半円筒型の透明ガラスでおおわれているので、長い通路が明るい遊歩道になる仕掛けで、たいへん楽しく過ごせるショッピングセンターでした。
期間中は雨の日が多く、天気には恵まれませんでしたが、得ることとは多く、たいへん勉強になりました。

ベルサイユ宮殿、鏡の間、

デンマークを含む北欧諸国は、社会福祉国家あるいは、「豊かな国」というので定評があります。また公園、池、森も多く、環境がよいので、このような点からだけでも、豊かな生活を感じさせる。社会保障制度が確立したのは、一九三三年以降のことである。現在、国家予算内に占める社会福祉関係の予算は約五十%で、「公衆衛生、年金、社会事業」が主であります。たとえば年金については、国民年金では六十七歳以上の男女および配偶者のない六十二歳以上

の女子に、生活を維持するに必要な最低額を保障するもの、所得にかかわらず支給され、基本額は夫婦の場合六万円前後であります。その他身体障害者年金、寡婦年金も制度化されています。また病院、老人ホーム、身体障害者の施設も充実しており、さらに老人や車いすが通れるように道路施設などにも種々な配慮がなされています。

デンマークの学校教育

デンマークの教育は、義務教育と高等教育とに分けられます。義務教育は一九七三年より九年制七歳から十五歳)となり、ほとんどが公立である。小学校は五年制、中学校は四年制になっています。通常七年目で本人の希望により各自のコースを選択できる。普通課程三年制か、職業課程三年制に進学できます。
普通課程を選んだ場合は、最終年度に一斉テストがあり、これに合格すれば高等学校三年制に進学できます。
また高等学校最終年度に再び一斉テストを受けて、国立大学進学の資格が得られる仕組みになっており、公立の学校の授業料は無料です。
私達の訪問した、プライマリ・ローアセカンダリー小中学校は、全校生徒が約七百人前後。首都コペンハーゲンの郊外に建てられており、学校の施設がよく完備されていました。校内には温水プールがあり、水泳の強化授業を行っていました。また、中学校には喫煙室があり、私たち一行は大変驚きました。青少年の非行とその健全育成は、それぞれの国で大きな課題となっているが、私たちにとっては理解の出来ないことであり、日本の現状を話しても理解してもらえないことが残念でした。

西独の社会教育

ヨーロッパにはわが国における社会教育と同じ概念は存在しない。このことは西ドイツにおいても同様である。しかし、青少年を健全に育てるための学校外の活動、成人のための教育活動は極めて盛んである。活動のほとんどは民間の自主的活動として進められ、国、地方公共団体では財政的な援助にとどまっているということでした。ハノーバー市の成人教育は、市民としての自己教育を充実するため、自から進んで教育を受けていました。特に一般労働者、工場労働者は、職業に役立つ学習に取り組んでいました。
西ドイツでも若い失業者が年々多くなっているため、勤労者能力資格取得を目指している学習講座は内容も多種多様で、日本講座、女性講座、老人講座、障害者講座、失業者講座、若者講座など。一つの講座は十人以上で、最低五人になるとその講座は中止になります。

西独の校外活動



西ドイツのユーゲント (スポーツ少年団) の活動

近年西ドイツでは青少年の窃盗、麻薬、アルコール中毒など、青少年の非行が急激に増加しており、青少年を健やかに育てるため、余暇活動をどのようにすすめるかが大きな課題になっている。
西ドイツにおける青少年の校外活動は、教育のわくぐみではなく、「青少年福祉法」に見られるように、社会福祉のわくぐみでとらえられている。
▽青少年のための休暇計画「旅行、キャンプ、文化施設などの利用」の提供。
▽青少年余暇施設「冒險

公園、オープンシアハウス」などの整備
▽スポーツ、文化、芸術活動の促進
▽自主的なボランティア活動の奨励
校外活動を運営して行く財政は、ドイツの教会、市議会の助けをかりて運営にあたります。
学校の授業は午前中で終り、子供たちの生活の場は地域での余暇活動を中心に進められています。また、子供たち専用の施設では自然と親しみ友だちと生活を共にしながら交流を深め学校では得られない貴重な体験を積み重ねていきました。

物の文化から 心の文化へ

文化作文審査評



第十四回鷹巣町文化祭のテーマは「町づくりと文化を考える」である、このテーマをもとに文化座談会（十月十六日）文化作文の発表（十月三十一日）が行われ、「文化」を考える機会とした。

文化作文の応募は、小学生五十四点、中学生十三点、高校生八点、一般一点の合計七十六点であった。※高校は読書感想文であったがとりあげることにした。審査評によると、

石油や電気がなかったら（題材）

小学校の部では、人類がここまで築いてきた文化生活をたたえ、もし石油や電気が止まったら、どんなことが起るであろうと、いろいろなことを想像して書いているものが多かった。そうした中で、わが家の歴史や

農業の実態を調べて、具体的なことと目を向けているのが、光っていた。

物の文化から 心の文化へ（内容）

物の豊富な時代に育っている小学生であるが、物質文化の発達、人間の生きる力を弱めていると、警戒している内容のものが多し。例を挙げると、

「もし、学校の先生の仕事をロボットがするようにになったらどうするでしょう。ロボットには知識があるけれど、心はありません。友達が病気になるっても、心配してくれないでしょう。……（原田）」
「人に注意されて腹が立つようでは一人前にならない。これが我家代々の言い伝えだそうで……（小坂）」

全体的に よくまとまっている（表現）

学校でよく指導され、選ばれて出された作品だけあって、どの作文も、構成がきちんとして、相手によくわかるように書かれている。ただ、句読点のうち方に若干の指導を要すると思われるものもいた。

入賞者は次のとおり

- ▽特選Ⅱ「豊かな社会」鷹小六・原田伸子 「我家の歴史」鷹中二小坂一美
- ▽入選Ⅱ「わが家の農業の歴史」西小五・成田 純 「坊沢とわが家の歴史」西小六・長崎馨 「わが家の文化祭」鷹小五松岡恵理子 「毎日の生活で思うこと」鷹小四佐藤理香 「もしも電気がなかったら」東小五・高橋晃子 「文化について思う」南中三畠山順子 「文化を考える」鷹中二・桜田千明 「生活の中からさすく文化を」松葉町佐藤富雄 「悪魔の飽食を読んで」鷹高三伊藤勝子
- ▽佳作Ⅱ「綴子のお祭り」綴子小六・高橋伸 「日本の農業について」西小五・高坂亜紀子 「くらしを見つめて」中央小五 本城谷尚子 「これからの鷹巣町」鷹小五・高橋雅彦 「進歩」鷹小六藤島美香 「便利な生活に思う」鷹小四・三上理恵 「わが村と浅利氏」南中三・長岐亮 「わが町をこんな町に」鷹中一 岩谷彩子 「かわりゆく郷土」南中二・畠山ひとみ 「高瀬舟を読んで」鷹高二・神成千恵子 「外まわり、分校日記を読んで」鷹高三・木村嘉浩

ふるさと 人物伝 35

みかだ げんざう
三日田 源蔵

一八八七—一九五〇



昭和二十五年三月二十一日、彼岸の中日、正午を告げる消防署のサイレンの鳴る中で、三日田源蔵さんは、一時間もつぶやくように続けていた読経を止め静かに息をひきとった。まことに柔和な表情の大往生である。心配していた浄運寺の和尚りころ問題が、昨夜の壇徒大会で円満解決したことを聞いての冥土への旅立ちであった。

改良カンテラを売り出し繁昌していた。
大正初期は、各家庭によく電灯がついたばかりで、何かあるときは、ガス灯やカンテラがよく使われていた。
源蔵は、器用な手つきで、ブリキを細工し、つぎつぎと新しい型のカンテラを作っては売り出し忽ちのうちに、当町きつての大商店になってしまった。
老舗「三日田商店」の主人の彼が仏教に精魂をうち込むようになった動機は何であつたらうか。昭和十年頃から、盛んに写経をし、坐禅をし、朝夕には読経を欠かさぬようになった。
更に浄運寺、秀方大和尚の許可を得て墓地の清掃をはじめたのである。雨の日も、風の日もツツレ（短かい拾）にモンペをはき、地下足袋を縄で結んで、鍬やショベルを持って働く彼の姿を見ない日はなかった。ときには月光のかがやく夜にもその姿があつた。
それは、芸術に打ち込む名人の姿にも見え、また、彼の真意を理解できない人には狂人のように見えたかも知れない。
彼の亡くなった年の六月一日の大火で、町の姿は一変してしまつたが、三日田商店の帳場の彼と、仏門で悟道を目指す姿を思い起す人が多いと思う。
（資料 三日田吉治氏手記・武藤夕へ氏談）

中央公民館長 長崎 久



寿し52個たいらげ優勝

寿しファンのサービスト米の消費拡大をねらって、恒例の「寿し食い大会」が11月1日、農協ホールで開かれました。大会には胃に自信のある大食漢40人が挑戦。15分で何個を食べるか競うもの。ホイッスルの合図で胃袋につめこみ、みるみる間に鉢が空になり、タイムアップ寸前には4・5個一度に口に放りこみ顔が真っ赤。結果は52個たいらげた菅原喬さんが優勝。



鷹農祭では祭典気分一色

鷹巣農林高校では、伝統の「鷹農祭」が開かれ、10月23日は、名物の仮装行列が行われました。

同行列は、「綴子大太鼓」や「提灯みこし」などの祭典の出しものが続出。さながら街の目抜き通りは、祭典気分一色となりました。また「仏心」では大仏様が

街頭に飛び出し、めずらしいものには慣れている鷹巣っ子もド肝をぬいていました。



冬のスキーシーズンを控えて、教育委員会では10月からカントリースキー教室を鷹巣農林高校のPP（塩化ビニール）コースで毎週土曜日の午後、開催されています。同教室には町内7校から90人の男女が参加。インターハイ優勝者・津谷章夫さんの指導でトレーニングに励んでいました。豆レーサーは、早くもシーズン到来に向けてダッシュしていました。

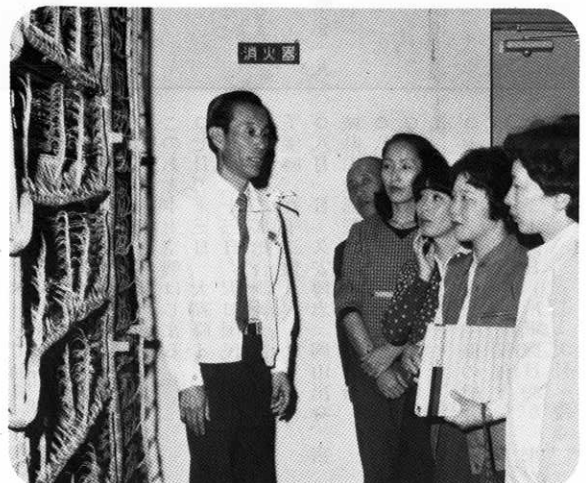
シーズンに向けてダッシュ



鷹巣電報電話局（石沢局長）で電々公社の30周年を記念して、町民のみなさんに局を知ってもらおうとい

うことから、局の見学会を開催しました。電話業務がほとんどオートメーションされていることから、見学者は、屋上のパラボアンテナや、線が複雑に入り組んでいる自動交換器など目をみはるばかり、日頃見ることのできない施設が一般公開されました。

一般公開で電々を見学



町づくりは郷土愛の心から 地方史研が史談会

鷹巣地方史研究会（二階堂善三

会長、会員七十二名）は文化祭行事の一つとして、十一月三日、恒例の史談会を中央公民館で開いた。

当日の参加者は二十五名、機関誌十一号を素材に、「町づくりと文化」をテーマに話し合った。

鷹巣町民は 歴史への関心度が高い

「郷土史展」「館跡めぐり」「文化財めぐり」など、たくさんの人々が参加し、目を輝かせて熱心に調べていた。また、「史談会」もこうして開けるなど、当町の人は、他町村に比べて郷土の歴史への関心度が高い。

鷹巣盆地は資料の豊庫

自然の条件に恵まれている鷹巣盆地は有史以前から他地方より高い文化が発達していた。その証拠として、▽藤株遺跡からの出土品は、全県でずば抜けて高い水準を示している。▽胡桃館遺跡は従来の歴史観（学説）を変えるべきもの。▽明治初期より郡都として発展してきた立地条件、▽昔から偉い人材が多く出ていることなどがあげられる。

このことを多くの人々にわからせ、愛郷心を培い、町の発展に寄

与したい。

誰にでも よくわかる資料館を

貴重な文化財が散逸して失くならないように、実物を見ながら歴史を知ることができるよう、資料館がほしい。

郷土への関心は子供の頃から興味を持つようすることで高められるものである。その為には絵や模型などで解説すること。

「鷹巣盆地のおいたち」「くるみ館遺跡の果たした役割」「人物伝」等々、例があげられた。

鷹巣小学校移転後の校舎の利用ができればありがたい。また、小中学校では、学級減による空教室利用による郷土学習室など考えてほしい。

「愛郷」の 土壌づくりが大切

なんでもそうだが、行政が施設をつくっても、住民の関心が低いと利用しなくなる。

郷土の昔と今と、そして未来を創造する心を育てるためのいろいろな行事をもち、グループを育て、まず愛郷の土壌づくりをすることが大切で、当町には徐々にそれができつつある。



「鷹巣地方史研究」第十一号

当日、話題となった機関誌、第十一号の内容はつぎのとおり。

「明治戊辰役鷹巣方面の戦記概要」

二階堂善三、「県教育資料展を見て思ったこと」渡辺勝蔵、「鷹巣

町の古木・名木十選」村上士良、「部

落の人々の徒名について」花田一

司、「信号機の下がる線路」佐藤

富雄、「大正初期における鷹巣町

民の生活周辺」成田総一郎、「埋

蔵金発掘の話」松橋栄信、「津軽

探訪記」笹原一、「敏吉じさまと

炭山」長崎 久、

B5版四十頁 誌代一部五百円

※地方史研究会にはどなたでも

加入できます。年会費は正会員二

千円、準会員一千元、申込先は、

旭町五番二九号 二階堂善三宛

☎ 二一〇一三

郷土史年表

西暦	昭和	和	時	代	事	項
一九四三	昭和十八				○五月三十日 アッツ島の日本軍守備隊玉砕	
					○六月十日 坊沢、農繁託児所を十日間開設	
					○七月二十日 沢口国民学校 滑空場株払い奉仕	
					○九月八日 イタリア無条件降伏	
					○十月 五十九銀行支店を青森銀行鷹巣支店と改称	
					○十一月 坊沢国民学校 堆肥用落葉集め三日間、ドングリ出荷六十俵	
					○十二月一日 学徒出陣始まる	
					○十二月二十四日 徴兵適齢一年引下げきまる	
					○米一石 六十二円五十銭	
					○女子も勤労挺身隊として動員	
					○二月十一日 軍事保護院より栄国民学校の軍人援護教育が表彰される。	
					○三月三十一日 栄村農業会設立認可	
					○六月十五日 米軍サイパン島に上陸このあと本土空襲はじまる	
					○七月二十三日 大霜降る	
					○七月二十三日 沢口国民学校、学区代表として郡総合訓練大会で高等科男子優勝、女子二位	
					○八月一日 久安博忠（岡山出身、宮城県内政部長）本県知事に任命	
					○八月二十三日 「学徒動員令」公布	
					○十月二十二日 観音堂分教場新築落成	
					○十一月日 郡教育会主催の総合教育研究会を綴子国民学校で開催す	
					○十一月二十四日 米軍機B29が、東京に初空襲	

（次号へ続く）

みんなの広場



ブナ (ブナ科)

この地方(温帯)を代表する樹種、果は食べられる。

(鷹巣南小学校 島山益穂先生)

今、生きてきた

他人のカマメシ

小森 神成 雄平(24)



私は、学校卒業と同時に、農業に従事し、今年で三年

目になる。大空の下で力いっぱい、生きていく。百姓が素晴らしい自然の中で、喜びと悲しみを肌で感じ、自分の職業に自信と誇りを持ち仕事ができるということは、ものすごく

魅力的なことである。

そこで立ち小便をしながら、なぜ自分は、こんな楽園にいるのかと、錯覚さえ覚えるのである。卒業したの頃、夢があった。資金を貸り、華ばなくデビューしたかったのであるが、実習に入った農家の親父さんの言ったことを思い出したのだ。『今、自分がおかれてる立場をゼロとして、取り巻く情勢をじっくりみて、一歩前進する。それからまた一歩と。そして、前進する可能性が薄かったなら、一歩さがれ。そのさがった時こそ勉強をし、それから一歩前進すればいい。つまり、マイナスからゼロへ進めばいい。それは自分にとって一歩前進したことに

なる。』と、なんか発展性のないように感じるが、それには意味深いものがある。だが、今の私は、一歩も二歩もさがっている気がしてならないのだ。それだけ農業は厳しい情勢下にあるのだろうか。今日の農業経営は、現実の諸条件に、必ずしも適応した形になっていない経営が多いと思う。農業経営を取り巻く情勢は、急激に変化しつつあることを把握して、慎重に我が道を歩いて行きたいと思っ

だから、自ら、土・作物・家畜に接していれば、他力依存の前に、自らの経営を自らの手で、改善・発展させていくことが必要で、自助努力が強く望まれる気がしてやみません。

広報のおおひ

ねこ背

寒さはかけ足で

やつてきます。

背を丸めポケットに手をつっ込んで歩く癖がついて、いつの間にかねこ背になっているのでは

ありませんか。いつも悪い姿勢でいると、全身の筋肉運動が平均して行われないので、局部的に筋肉が硬化し、特に中年を過ぎると、その部分に老化現象が現われるとい

ます。また、背骨が湾曲したり、胸が狭くなって肺活量が減り、病気に対する抵抗力も衰えるという悪影響もありません。

響もあります。道を歩いている時は、店のガラス戸などに目をやって、自分の姿勢をチェックしましょう。いすに腰かける時は、深くゆつたりと。軽い体操や散歩で、筋肉を均等に動かすことも忘れないうにしましょう。

たかのす文芸

冬に向かって

南中学校二年B組 小原 泉

つめたい風が肌にしみる

枯葉が散る

ゆつくりと、この世界を終える枯葉

私はふつとふり返る

山は一面紅葉の世界だ

大木はゆつくりとゆれながら

枯葉に別れを告げる

鳥たちはささやく

「北国の冬は、すぐそこまで来ているよ」

枯葉が散る

短かい、短かい命を終えて

やがて 生まれ変わる日を夢見て

厳しい北国の冬がやってくる

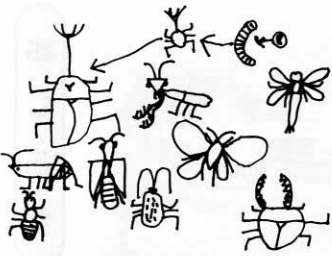
大木よ 大地にどっしりと身をかまえ

冬の寒さを、受けとめてほしい

いつか、春の足音が聞こえる日まで

落葉はだんだんつもってくる

ゆつくりと、北国の冬は近づいてくる



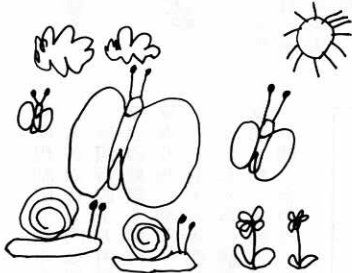
みかみ

じゅんぺいくん (5歳)



ぼくの絵 わたしの絵

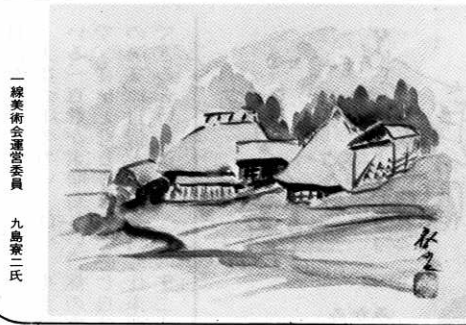
鷹巣保育園



さとう よしこちゃん (5歳)



おしらせ



一級美術会審査委員 九島素三氏

半まで。
※場所は、いずれも鷹巣保健所で
す。

結核二次検診

都合により受診していない全町
の方を対象に、十一月十八日、十
九日の二日間、結核二次検診を
実施いたします。
時間は、午前九時半から十一時
半まで、午後十二時半から三時ま
で中央公民館となっています。

表具講習会

高齢者を対象に表具講習会が、
十一月二十五日から二十七日の三
日間、鷹巣高等職業訓練校で開催
されます。
受講対象者は、おおむね五十歳
以上の男女二十名です。
受講ご希望の方は、十一月二十
五日まで高等職業訓練校(☎二一
一六二六)へ申し込みください。
くわしいことについても同校へ

十一月の健康相談

成人健康相談は、二十四日まで。
時間は、午前九時から午後三時
まで。血圧測定のほか、必要に応
じて尿検査も行います。
場所は、中央公民館保健相談室
です。

離乳食実習指導は、十八日

離乳食実習指導は、十八日(五)
十七年四月生まれとなっています。
受付時間は、午前九時半から十
時まで。乳児健康相談も併せて行
いますので、お子さんもお連れく
ださい。

乳児健康相談は、十八日

乳児健康相談は、十八日(五)
十七年七月生まれとなっています。
受付時間は、午後一時から一時

▽所得制限(給年所得者は年間収
入が六百万円以内。事業所得者
は四百四十万円以内)
▽返済期限(学校の修業年限以内
から五十八年四月まで)
▽取り扱い期間(五十七年十一月
から五十八年四月まで)
くわしくは、国民金融公庫大館
支店(☎ 大館四二一三四〇七)
へお問い合わせください。

停電のおしらせ

十一月の作業停電は、次の地区
です。
▽18日(木)糠沢地区
▽22日(月)生協・
中央公民館付近
▽26日(金)元町付
近
▽29日(月)今泉地区

善意

- ▽太田(松尾儀四郎さんから亡父
市郎さんの香典返しとして、座
卓六脚が太田児童館へ寄贈され
ました。
▽津谷書店から新店舗落成記念と
して、ガッケンエリア教科事典
(学習研究社刊)全十八巻、日
本現代文学全集(講談社刊)全
三十八巻が図書館へ寄贈されま
した。
▽マルカ金沢商店から創業三十周
年記念として十万円を、社会福
祉のために町社会福祉協議会
へ寄付金がありました。
▽松葉町(辻備次郎さんから長男
幹雄さんの結婚式を記念して、
十万円をボーイスカウト秋田第
二十一団と、剣道スポーツ少年

団に寄付金がありました。
▽鷹巣社交ダンスから、チャリテ
ィーダンスパーティーの収益金
六、四一六円
▽鷹巣中学校一年四組の皆さんか
ら、学校祭における愛の募金と
して六九三円
▽鷹巣農林高校JRCから学校祭
における募金として一、一三〇
円

▽太田(松尾道雄さんから車イス
一台
それぞれ社会福祉のために、
社会福祉協議会へ寄付金がありま
した。
ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

- このほど次のかたから、香典返
しにと町社会福祉協議会へ寄付金
がありました。
ご芳志に深く感謝いたします。
▽摩当(松橋道男さんから亡母ツ
タさんの香典返し)
▽大町(桜庭ミチエさんから亡父
忠五郎さんの香典返し)
▽材木町(畠山セツさんから亡母
トヨさんの香典返し)
▽大町(高泉紘一さんから亡父喜
久治さんの香典返し)
▽太田(松尾道雄さんから亡父千
代治さんの香典返し)
▽岩脇(岩本佐市さんから亡母リ
ヨさんの香典返し)
▽糠沢(山内武道さんから亡祖母
アキさんの香典返し)
▽南鷹巣(成田秀夫さんから亡父
留吉さんの香典返し)

慶弔だより

10月15日~10月31日
誕生おめでとうございます

- 高井 淳(志彦) 長男(前)野
長岐 悟(正利) 長男(中)畑
三沢 智司(司) 二男(大)堤
小笠原智穂(忠夫) 二女(前)山
寺田 明子(昌弘) 長女(大)町
戸沢 大昂(司) 長男(前)山
三沢 崇史(尚光) 長男(中)田
佐藤 伸秋(一美) 二男(東)中
大川 絃世(幸一) 長男(東)横
中嶋 淑恵(敏寛) 三女(住)吉

- 小松 靖雄 綴子上町
石川 美央子 大館市
成田 義人 舟見町
佐々木 鉄子 松沢
佐藤 孝也 大町
佐藤 久美子 秋田市
岩本 昭義 元町
前田 正一 前山
竹川 真智子 東京都

おくりあげます

- 小塚 千タ(83歳) 花園町
津谷 幸三(74歳) 相善町
藤岡 サト(92歳) 田子ヶ沢
松尾 隆子(31歳) 太田
小笠原三平(80歳) 前山
成田 留吉(79歳) 南鷹巣
花田 肇(86歳) 住吉町
高橋 縣治(75歳) 綴子上町